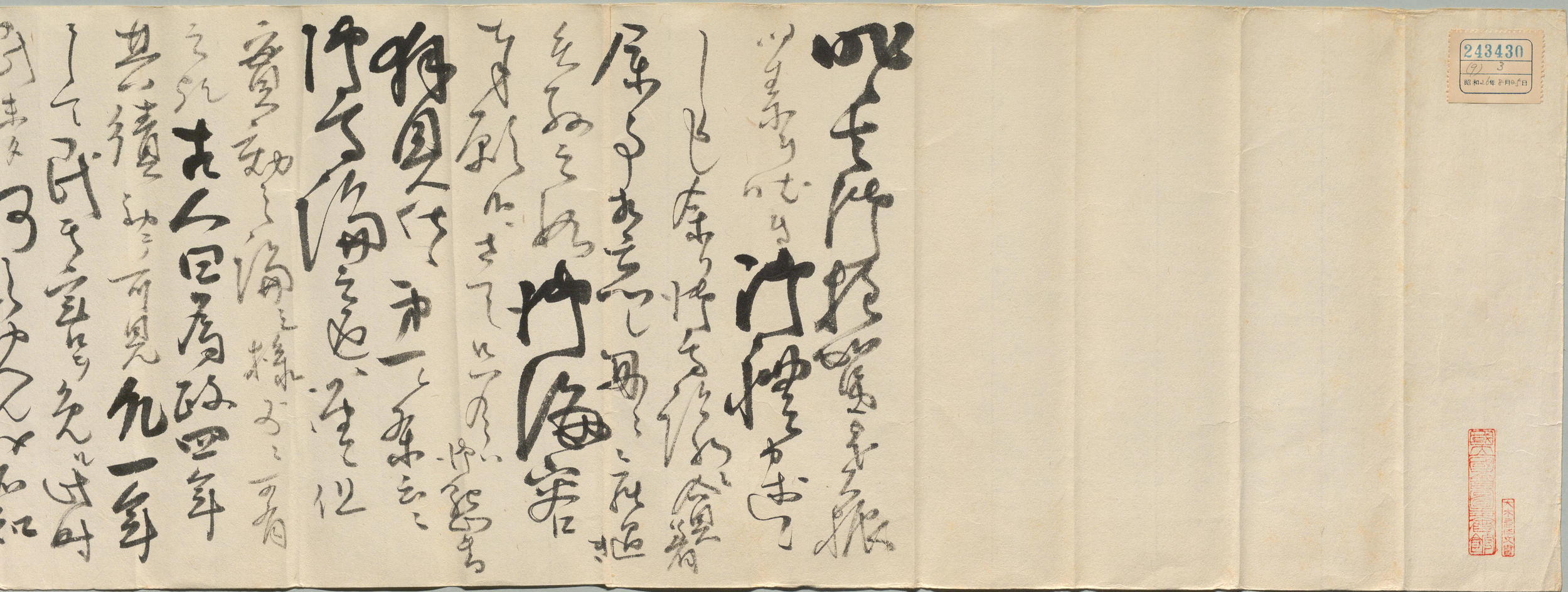
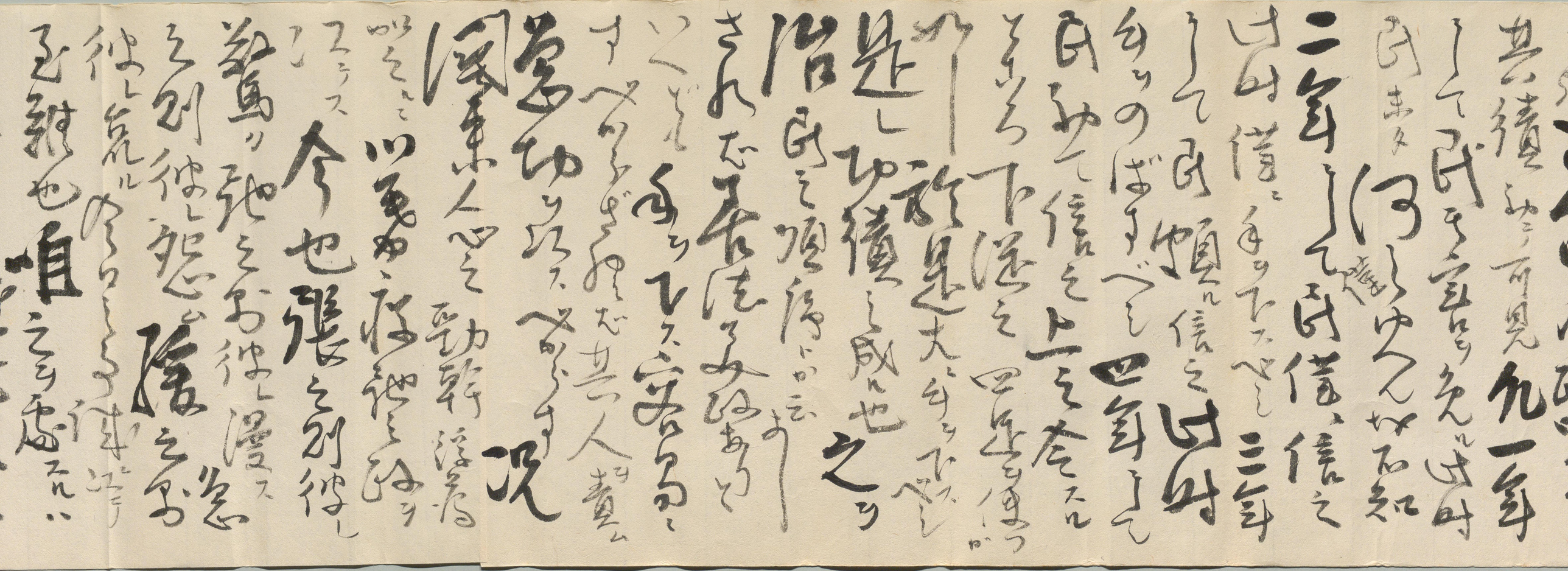
国立国会図書館　大木喬任関係文書（書簡の部）617-32

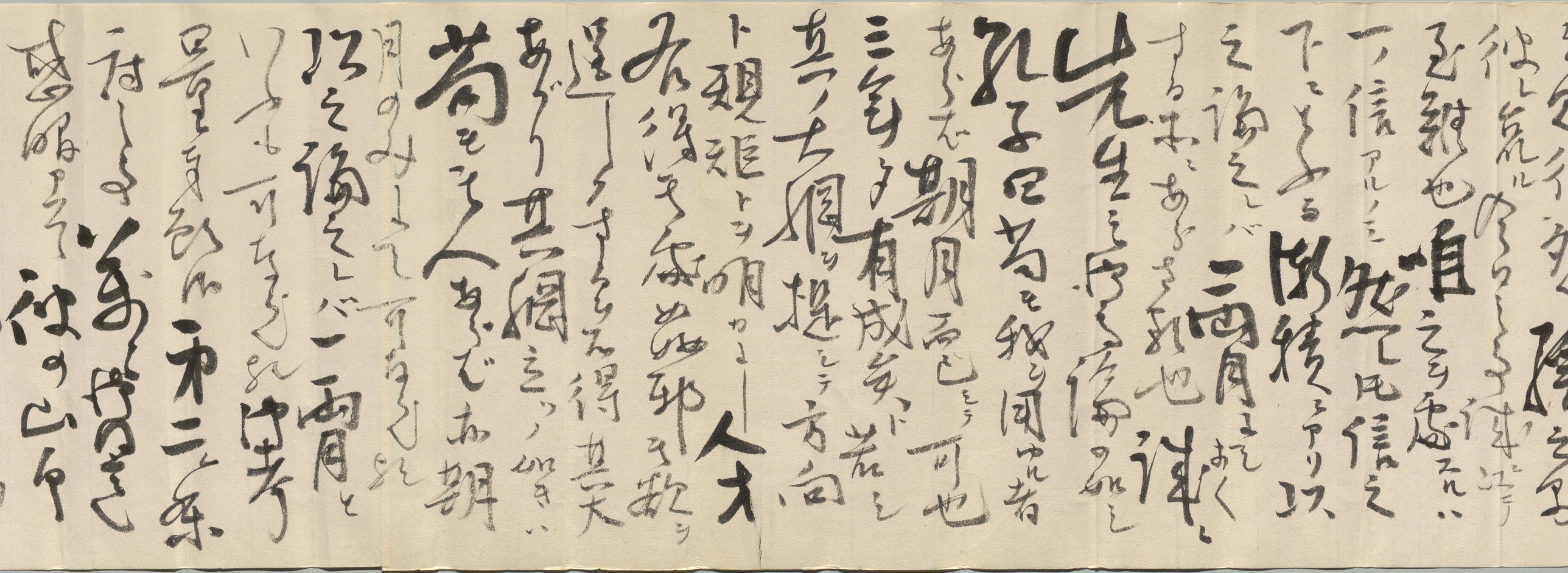


243430
(9) 3
昭和26年8月8日

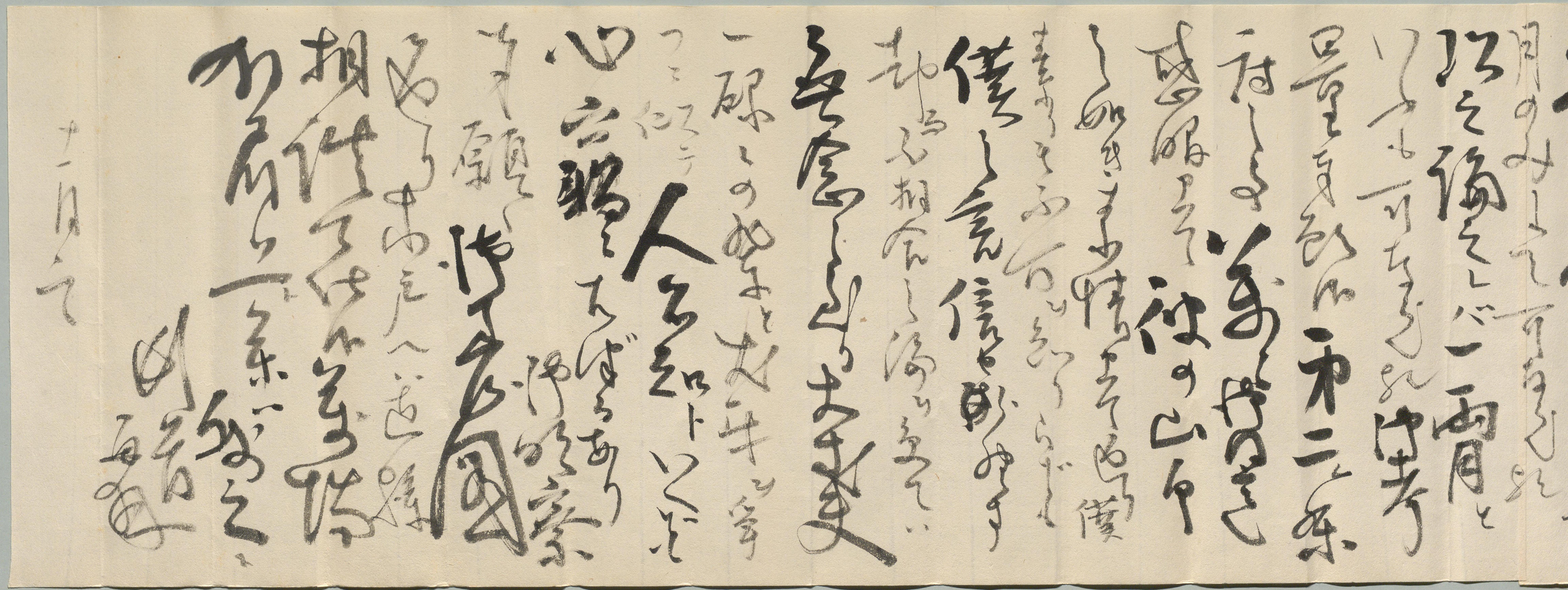
国立国会図書館　大木喬任関係文書（書簡の部）617-32



其積ハ可見九一年
して民を害ヲ免ル此時
民まヽ何とゆへん知不知
二年して民借ハ信之
此時借ハ手ヲ下ズベシ三年
して民頼ル信之此時
手ヲのばすべし四年して
民知て信之上之奈スル
ところ下従之四年ヲ使つ
かし所是大ニ手ヲ下ズベシ
是し功績と成ル也之ヲ
治民之頃侍ト云ヘ
されば吾法ヲ安ぬ事
いくばれ手ヲ下ス安ら易
すべからずれば其人ヲ責ム
愚功ヲ以ス べからず
況
國家人心之勤幹浮薄
ゆえに以義ヲ持ち他之路ヲ
ユラス今也張之則彼し
驚ク弛之事彼し漫ス急
之則彼し怨ム陰之事
彼し荒ル ゆらしらず徒ニ
至雑也唯之ヲ感スルハ



国立国会図書館　大木喬任関係文書（書簡の部）617-32



国立国会図書館　大木喬任関係文書（書簡の部）617-32